

## 平成 25 年度介護予防事業の概要報告

### 1 二次予防事業の対象者把握事業

#### (1) 事業内容

本事業は、二次予防事業である通所型介護予防事業及び訪問型介護予防事業の対象者を抽出するために取り組んでおります。

- ① 対象者：65 歳以上の要介護等認定を受けていない方
- ② 内容：基本チェックリストによる生活機能評価（必須 25 項目＋独自 20 項目）
- ③ 目的：生活機能低下により介護予防が必要とされる、要支援認定者の手前の二次予防事業（通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業）の対象者を把握
- ④ 未返送者への対応：督促通知を送付し、提出の促進を図っています。
- ⑤ 結果通知：結果アドバイス表として、結果を送付いたします。
- ⑥ 一次予防事業（介護予防普及啓発事業、認知症予防事業）への参加の案内：結果通知とともに同封いたします。
- ⑦ 二次予防事業対象者への勧奨：通所型介護予防事業への参加を促すために、9 月、12 月、3 月、6 月の時期に 4 回の勧奨を行います。
- ⑧ 医師への生活機能評価受診：通所型介護予防事業への参加申込みをされた方の中から必要に応じて受診していただいております。

#### (2) 事業の実施状況

##### ①事業実施スケジュール

- ア 基本チェックリスト発送日 … … … … … 平成 25 年 6 月 5 日  
イ 未返送者への督促通知日 … … … … … 平成 25 年 7 月 4 日  
ウ 基本チェックリスト結果アドバイス表発送日 … … … … … 平成 25 年 8 月 15 日  
エ 上記ウに介護予防普及啓発事業及び認知症予防事業の案内を同封  
オ 9 月から、通所型介護予防事業の参加勧奨用データとして活用します。  
(8 月 26 日に勧奨通知送付済)

②二次予防事業対象者把握状況表

		平成25年度	平成24年度
基本チェックリスト対象者数	A	32,239人	31,285人
基本チェックリスト返送者数	B	27,350人	26,121人
基本チェックリスト返送率	B/A	84.8%	83.5%
基本チェックリスト未返送者数	C = A - B	4,889人	5,164人
基本チェックリスト判定不能者数	D	956人	
基本チェックリスト判定不能者発生率	D/B	3.5%	
基本チェックリスト結果通知送付者数	B - D = E + F	26,394人	
<b>二次予防事業対象者</b>	<b>E</b>	<b>6,020人</b>	<b>6,596人</b>
二次予防事業対象者発生率	E/B	22.0%	25.3%
一次予防事業対象者数	F	20,374人	19,038人
一次予防事業対象者数発生率	F/B	74.5%	72.9%
基本チェックリスト未返送者への再送付通知（7月4日発送）		7,162通	7,522通
生活機能評価受診者数		288人	298人

※基本チェックリスト判定不能者数は、必須25項目の内、20項目以上空欄の方

## 2 通所型介護予防事業（二次予防事業）

### （1）事業内容

二次予防事業対象者に、寝たきりや要介護状態になることや、症状が悪化することを防ぐために、通所型介護予防事業（介護予防教室）を開催します。

高齢者自身の日常生活動作の能力を高め、本人の介護予防の実践に結びつけていくため、運動機能の向上や栄養改善、口腔機能の向上について、本事業の幅広い展開を図ります。現在、送迎付きの教室は、2ヶ所を拠点（小川東町、花小金井）として実施し、さらに、巡回型として拠点以外の場所での実施を行っています。また、随時、二次予防事業対象者へ参加勧奨を行っています。

### （2）事業の実施状況

#### ①介護予防教室＝各区分を開始月4回（4月・7月・10月・1月）により実施 4月～12月の実績

区 分	1コース当 たりの回数 (3か月間)	コース数	延開催 回数	参加人数	延参加人数
運動機能向上コース	12回	30コース	360回	297人	3,134人
運動機能向上コース<継続者対象>	6回	12コース	72回	95人	522人
介護予防総合コース	12回	12コース	144回	91人	929人
腰痛・ひざ痛予防教室	8回	6コース	48回	52人	377人
口腔機能向上コース	6回	3コース	18回	31人	142人
合 計		63コース	642回	566人	5,104人

※ 腰痛・ひざ痛予防教室は、巡回型として実施しています。

#### 【巡回型実施場所】

4月～6月	①上水本町地域センター	②上水新町地域センター
7月～9月	①御幸地域センター	②花小金井北地域センター
10月～12月	①小川西町地域センター	②中島地域センター
1月～3月	①大沼地域センター	②鈴木地域センター

## 3 訪問型介護予防事業（二次予防事業）

### （1）事業内容

心身の状況により通所型介護予防事業への参加が困難な二次予防事業の対象者に、看護師等がその居宅等を訪問し、必要な相談・指導を実施します。

今後は、多くの利用を促すため、訪問・電話等により積極的に対象者への働きかけを行います。

### （2）事業の実施状況

1人につき月2回までの訪問を実施

4月～12月 対象者 0人

#### 4 介護予防普及啓発事業（一次予防事業）

##### （1）事業内容

全ての65歳以上の高齢者の内、会場にご自身で来られる方を対象に、生活機能の維持や向上を目的とする介護予防講座等や、介護予防の情報を提供し、自立した日常生活が送れるよう支援を行います。講座等は、二次予防事業対象者把握事業の結果通知での参加勧奨、市報等での参加募集を行っています。

##### （2）事業の実施状況

###### ①介護予防講座

区分	とき	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
講演会	11月6日	ルネ小平レセプションホール	1回	26人	寝たきりにならない介護予防～高齢者のひざ痛、腰痛について
講座	9月12日 9月19日	小川西町公民館	1回	12人	始めよう！運動とお口の介護予防
	9月27日 10月4日	福社会館	1回	19人	
	10月7日 10月21日	東部市民センター	1回	30人	
運動講座	5月13日	東部市民センター	1回	7人	「足・腰をきたえて転倒予防」
	5月21日	福社会館	1回	14人	
	5月31日	小川西町公民館	1回	4人	
	6月18日	福社会館	1回	19人	
	11月27日	小川西町公民館	1回	4人	
	12月4日	福社会館	1回	10人	
	12月9日	東部市民センター	1回	14人	
	1月29日	福社会館	1回	28人	
	2月26日	福社会館	1回	26人	
	健康フェスティバル 11月10日	健康センター	1回	39人	
		合計	14回	252人	

②介護予防講座（二次予防事業修了者用）

担当包括	と き	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
小平健成苑	7月12日	小平健成苑	1回	8人	体操を通しての介護予防パート1
	10月21日	小平健成苑	1回	12人	体操を通しての介護予防パート2
	2月12日	小平健成苑	1回	14人	体操を通しての介護予防パート3
多摩済生ケアセンター	6月5日	小平団地内集会室	1回	12人	自宅でできる介護予防体操
	6月11日	大沼集会室	1回	8人	自宅でできる介護予防体操
	10月2日	小平団地内集会室	1回	19人	自宅でできる介護予防体操
	10月8日	大沼集会室	1回	8人	自宅でできる介護予防体操
中央センター	10月15日	福社会館・談話室	1回	2人	ころばん運動教室
	11月12日	福社会館・談話室	1回	5人	ころばん運動教室
	12月17日	福社会館・第3集会室	1回	4人	ころばん運動教室
	1月21日	福社会館・第1集会室	1回	6人	マジックで頭を鍛えよう
	2月18日	福社会館・第1集会室	1回	7人	ころばん運動教室
	3月18日	福社会館・第1集会室	—	—	ころばん運動教室
小川ホーム	5月20日	学園西町地域センター	1回	17人	元気はつらつ小川の会体操教室
	7月22日	学園西町地域センター	1回	13人	元気はつらつ小川の会体操教室
	9月9日	学園西町地域センター	1回	20人	元気はつらつ小川の会体操教室
	11月18日	学園西町地域センター	1回	14人	元気はつらつ小川の会体操教室
	1月20日	学園西町地域センター	1回	12人	元気はつらつ小川の会体操教室
	3月17日	学園西町地域センター	—	—	元気はつらつ小川の会体操教室
けやきの郷	6月20日	けやきの郷	1回	22人	寝たきりにならないための運動講座
	10月26日	けやきの郷	1回	18人	寝たきりにならないための運動講座
	2月20日	けやきの郷	1人	18人	寝たきりにならないための運動講座
		合 計	20回	239人	

## 5 認知症予防事業（一次予防事業）

### （1）事業内容

65歳以上で要介護・要支援認定を受けておらず、認知症の診断を受けていない方を対象に、認知症予防の普及啓発に資する様々な内容を取り入れた教室・講座・講演会を開催し、利用者が認知症予防を実践できることを目指します。認知症予防教室は、昨年度から「ウォーキング編」を実施しています。

### （2）事業の実施状況

#### ①認知症予防教室＝ウォーキング編

入門編：2コース2回（4月・9月）

実践編：2コース24回（4月～7月・10月～12月）

フォローアップ編：2コース6回（8月～10月・1月～3月）

ウォーキングイベント：2回（5月・11月）

#### ◎入門編

と き	実施場所	開催回数	参加人数
4月10日	ルネこだいら	1回	22人
9月26日	小川西町公民館	1回	53人
	合 計	2回	75人

#### ◎実践編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
4月24日、5月1、8、15、22、29日、6月5、12、19、26、7月3、10日	美園地域センター	12回	8人	80人
10月10、17、24、31日、11月7、14、21、28日、12月5、12、19、26日	小川西町公民館	12回	22人	223人
	合 計	24回	30人	303人

#### ◎フォローアップ編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
8月7日、9月4日、10月2日	美園地域センター	3回	7人	18人
1月23日、2月20日、3月20日	小川西町公民館	—	—	—
	合 計	3回	7人	18人

#### ◎ウォーキングイベント

と き	実施場所	開催回数	参加人数
5月22日	健康福祉事務センター	1回	15人
11月7日	東部市民センター	1回	20人
	合 計	2回	35人

②認知症予防講座＝２コース１６回（９月～１０月・１月～３月）

テーマ：「目・脳・体いきいき教室」

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
9月10, 17, 24日 10月1, 8, 15, 22, 29日	東部市民センター	8回	37人	248人
1月7, 14, 21, 28日 2月4, 18, 25, 3月4日	健康福祉事務セ ンター	—	—	—
	合 計	8回	37人	248人

◎フォローアップ編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
1 1月 2 6日	東部市民センター	1回	20人	20人
3月 2 5日	健康福祉事務セ ンター	—	—	—
	合 計	1回	20人	20人

③認知症予防講演会＝２回

と き	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
6月27日	ルネこだいら	1回	78人	認知症予防と早期発見
10月16日	中央公民館	1回	45人	知って得するマメ知識 (認知症の特徴・ 初期対応・予防)
	合 計	2回	123人	

## 6 介護予防見守りボランティア事業

### (1) 事業内容

見守りボランティア登録をされた高齢者が、地域包括支援センターと連携しながら、地域のさりげない見守り活動を行い、この活動を通して、地域の見守り体制を強化するとともに、ボランティアとして活動する高齢者の介護予防を推進します。

この事業は、平成23年9月から西圏域でモデル事業として開始していますが、本年度から他の圏域への拡大を図っていきます。

見守りボランティアの方々には、地域を知ってもらい、日常の外出からさりげない見守りを行い、異変に気づいた場合には、地域包括支援センターに通報することとしています。

見守りボランティアの登録前には、事前研修を行い、登録後には、交流会や、フォローアップ研修を行っています。

### (2) 事業の実施状況

#### ①登録事前研修

##### ★内容

1日目	地域の中で高齢者を見守ることについて 講師：森山千賀子氏（白梅学園大学准教授）	2日目	①認知症サポーター養成講座 ②高齢期のからだの変化
-----	--	-----	------------------------------

##### ★日程等

圏域	担当	とき	実施場所	開催回数	参加人数	男性	女性
西圏域	地域包括支援センター けやきの郷	9月2日	やすらぎの園 黎明ホール	1回	44人	16人	28人
		9月9日	けやきの郷 家族介護教室	1回	16人	9人	7人
中央西圏域	地域包括支援センター 小川ホーム	10月18日	小川ホーム	1回	12人	6人	6人
		10月29日	小川ホーム	1回	13人	5人	8人
中央圏域	地域包括支援センター 中央センター	9月17日	健康福祉事務センター 第2会議室	1回	8人	1人	7人
		9月24日	福祉会館 第3集会室	1回	3人	1人	2人
中央東圏域	地域包括支援センター 多摩済生ケアセンター	10月21日	多摩済生 ケアセンター	1回	18人	4人	14人
		10月22日	多摩済生 ケアセンター	1回	17人	4人	13人
東圏域	地域包括支援センター 小平健成苑	9月10日	小平健成苑	1回	25人	7人	18人
		9月19日	小平健成苑	1回	24人	9人	15人
			合計	10回	180人	62人	118人

②見守りボランティア登録者数 (平成 26 年 2 月 28 日 現在)  
 95名 < 男性 = 38名 > < 女性 = 57名 >  
 ※ 内、協力員登録 (65歳未満の方) = 男性 2名 女性 10名

【内訳】

圏域	登録者			協力員			合計		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
西	14名	17名	31名	1名	3名	4名	15名	20名	35名
中央西	8名	8名	16名	0名	0名	0名	8名	8名	16名
中央	1名	1名	2名	0名	2名	2名	1名	3名	4名
中央東	4名	7名	11名	0名	0名	0名	4名	7名	11名
東	9名	14名	23名	1名	5名	6名	10名	19名	29名
合計	36名	47名	83名	2名	10名	12名	38名	57名	95名

③見守りボランティアからの通報 (平成 26 年 2 月 28 日 現在)  
 通報件数 = 3件

圏域	件数	主な内容
西	2件	①一人暮らしで介護認定を受けている方の介護サービス利用について ②歩行不安定の方の四点杖の利用について
中央西	0件	
中央	0件	
中央東	1件	①近隣高齢者の精神状況悪化に伴う相談について
東	0件	
合計	3件	

④フォローアップ研修

と き	実施場所	開催回数	参加人数	内 容
3月13日	中央公民館	—	—	高齢者が在宅で安心して暮らせるまことに (講演)
	合 計	—	—	

⑤交流会

ア 西圏域

と き	実施場所	開催回数	参加人数	内 容
5月21日	けやきの郷 家族介護教室	1回	15人	KJ法を使った「グループワーク」 ・私たちができる見守りについて ～大山団地佐藤氏の講演を振り返って～
7月19日	けやきの郷 家族介護教室	1回	16人	コミュニケーションの基礎知識
11月19日	市民総合体育館	1回	16人	町あるき (上水新町3丁目近辺) ・市民総合体育館を拠点として、高齢者宅と思われる居宅の異変に気づくためのトレーニングとして、フィールドワークを行った。
1月21日	けやきの郷 家族介護教室	1回	20人	・見守りボランティアになって感じたこと ・自分の1ヶ月のプランを立ててみよう

### イ 中央西圏域

12月11日	小川ホーム	1回	10人	自己紹介、登録研修を受講したその後について
2月12日	小川ホーム	1回	12人	東村山市高齢者安心見守りネットワーク「諏訪町ゆっと」の取組みと「ゆっとボランティアの活動」について

### ウ 中央圏域

11月27日	中央センター	1回	2人	自己紹介、登録研修を受講したその後について、地域の中で感じている事
1月29日	中央センター	1回	4人	プライバシーについて、地域包括支援センターを知ってもらう

### エ 中央東圏域

12月5日	多摩済生ケアセンター	1回	11人	自己紹介、登録研修を受講したその後について
2月6日	多摩済生ケアセンター	1回	7人	前回の交流会を振り返って、地域包括支援センターとは何か、次年度交流会で学びたいこと

### オ 東圏域

11月15日	小平健成苑	1回	25人	①自己紹介 ②地域の見守りについて意見・交換
1月21日	小平健成苑	1回	15人	消費者被害について

### 交流会の開催回数・参加人数の合計

	合計	12回	153人	
--	----	-----	------	--

### (3) 事業の課題・対応の方向

#### ア 課題

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| ① 見守り方法の検討  | ② 見守りボランティアの担い手について |
| ③ 横断的な連携    | ④ 地域住民同士の交流         |
| ⑤ 地域住民のリーダー | ⑥ 地域住民へのサポート体制      |

#### イ 対応の方向

- 方向① 具体的な見守り方法を検討する。
- 方向② 事業の継続性を踏まえ、65歳未満の協力員を増やす。
- 方向③ 横断的な連携などに配慮するため個人情報共有化も視野に入れる。
- 方向④ 地域住民の交流の場として、交流会を活用していく。
- 方向⑤ 見守りボランティアや協力員への対応を行う人材を確保する。
- 方向⑥ 見守り関連事業を改善し、見守り体制の充実を図る。

### (4) 平成25年度の取り組みについて

- ① 全圏域に事業を拡充いたします。
- ② 見守りボランティアが、地域包括支援センターから依頼された高齢者見守り事業の利用者の見守りを行います。
- ③ (3)に示した課題や対応の問題解決を行いながら、事業を推進します。

(5) 平成25年度の取り組みの実施状況について

今年度の取り組みとして、全圏域に事業を展開しましたが、見守りボランティアの具体的な見守りまでには至っていない状況です。今後も引き続き、事業の課題や、対応の方向を見据えた事業の推進を図っていきます。

(6) 平成26年度の取り組みについて

- ① 様々な機会を捉え、見守りボランティアを掘り起こし、増やしていきます。
- ② 見守りボランティアが、地域包括支援センターから依頼された高齢者見守り事業の利用者の見守りを行います。
- ③ (3) に示した課題や対応の問題解決を行いながら、事業を推進します。